

小1国語	単元名	くじらぐも	3時間
単元の目標	<p>場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。</p> <p>かぎ『』の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。</p> <p>語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。</p> <p>これまでの学習を活かして積極的に想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝えることができる。</p>		
日本語の目標	<p>空の上から見えるものの語彙を増やす。(郵便局、美術館、大学、ビーチなど)</p> <p>～が～ているの文をいう。(猫が魚を捕まえて走っている)</p> <p>クラスメートが始めた文に対して、さらに想像を広げている。(「猫がいるよ」「あの猫はお腹が空いているみたい」)</p> <p>ピンポンルールで二人とも同じくらいの量を話す。</p>		
学習課題	雲に乗った状態で、どんな会話ができるのか、話し合い、練習をする。		
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ● だいたいからどんな話が想像する。 ● 教師の範読を聞く。あらすじをパートナーに伝え合う。「どんなお話でしたか。」 ● 「今日はみんなも雲に乗ったつもりで、お友達とおしゃべりをします。どんなことをお友達と話すか考えておきましょう。」 ● 音読をする。(一斉読み。列ごと。パートナーと一文ずつ。たけのご読み。) ● 感想、思ったことを言う。(難しい子は「～が面白かったです。」の文を作る。またはお友達の感想を聞いてその真似をしても良い。私も～と思いました。) ● 雲の上でお友達と話せることを考える。(～が見えるよ。この雲ふわふわ。食べられるよ。ジャンプしよう。あれ僕の家。先生が歩いている。) ● お友だちが言ったことに対しそれに呼応する練習。繰り返し言うこともいい。「ふわふわしているよ。」「あ、本当だ、ふわふわしているね。」 ● クラスの中でペアを組ませて10秒ごとにパートナーを変え離させる。 ● 外に出て芝生の上に大きな布(シート)を引き、それを雲に見立てて、ジャングルジムから飛び乗って、ペアで話をさせる。時計と反対周りで15秒でパートナーを変える。 		
評価の観点	雲に乗って、想像を広げて、話す内容を創造し、パートナーと話せているか。また、パートナーが言ったことに呼応できているか。		

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	範読を聞く 一言あらすじをいう 音読する この単元であることを把握する 一言感想をいう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ひとことかんそうをいおう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ● だいたいからどんな話が想像する。 ● 教師の範読を聞く。 ● 起こったことをパートナーに伝え合う。「お話では何が起こりましたか。」<u>デジタル教科書で挿絵を写す。ノート板書</u> 	何が面白かったのか、具体的に、くじらぐもの内容を入れたひとこと感想が言えるように、音読をしっかりする。 あらすじは、この物語を知らない人に教えてあげるた

		<ul style="list-style-type: none"> ● 「今日はみんなも雲に乗ったつもりで、お友達とおしゃべりをします。どんなことをお友達と話すか考えておきましょう。」 ● 音読をする。(一斉読み。列ごと。パートナーと一文ずつ。たけのご読み。) ● 感想、思ったことを言う。(難しい子はあらすじで書いたノートを見て「～が面白かったです。」の文を作る。またはお友達の感想を聞いてその真似をしても良い。私も～と思いました。) 	<p>めに、何というかを考える。日本語力の低い子は人の話を聞き、それからいいと思ったものを真似する。高い子は自分で文を作る。</p>
2	<p>雲の上で話せること想像を働かせて、ブレインストーミングする。</p> <p>ペアでお互いに呼応しながら、会話する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">えをみながら、くものうえではなそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 雲の上でお友達と話せることを考える。(～が見えるよ。この雲ふわふわ。食べられるよ。ジャンプしよう。あれ僕の家。先生が歩いている。) ● お友だちが言ったことに対しそれに呼応する練習。繰り返すこともいい。「ふわふわしているよ。」「あ、本当だ、ふわふわしているね。」「 ● パワーポイントの画像を見ながら、クラスの中でペアを組ませて10秒ごとにパートナーを変え話す。ピンポンルール(一人で話さない。二人で必ず同じくらい話す。相手が言ったことを繰り返してもいい。) 	<p>①雲の上ののっている感触・雲の上でできること</p> <p>②雲の上から見えるもの</p> <p>③見えたものから想像したこと。</p> <p>日本語力が低い子はノートを見ながら、同じことを言う。パートナーを変えて繰り返していくうちにノートなしでいえるようにする。日本語力が高い子は色々なことを言う。</p>
3	<p>実際のくじらぐもごっこ。</p> <p>一人で30秒話し続けられるかチャレンジ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">そうぞうしながらくものうえではなそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル教科書の挿絵を見ながら、それぞれの場面で何が起こったかパートナーと話す(復習) ● 外に出て芝生の上に大きな布(シート)を敷き、それを雲に見立てて、ジャングルジムから飛び乗って、ペアで話す。時計と反対回りで15秒でパートナーを変える。 ● 宿題の説明。今度は一人で雲の上に乗っているつもりで30秒話し続けられるか、チャレンジ。ノートを見ながらでもいい。やってみて、何が難しいか話し合い、そのサポートをする。話すことがない→話す内容はノートを見てもいいことにする、等。 	<p>自由話させるより、パートナーを決めて短時間でパートナーを変えて会話をさせる方が、多く話せると思ったから。日本語力が低い子は相手が言ったことを繰り返すようにする。「ふわふわしているね。」「うんふわふわしている。」</p> <p>一人で話す時、ノートを見るのだったら、何を書いたらいいか考える。スクリプト全ては書かない。</p>
	家庭学習課題	くじらぐもに乗ったつもりで一人で話し保護者が撮影する。30秒話し続けられるかチャレンジ。	

板書

10月14日 くじらぐも

ひとことかんそうをいおう。

くじらがしゃべった。

くじらにのった。

くじらがうごいていろいろなところにいった。

みんなでそらをとんだ。

〜がおもしろかったです。

そうぞうしながらくものうえではなそう

くものうえ

ふわふわしている。

じゃんぷできる。

うちがみえる。

ねこがあるいている。

あのこうえんいったことある。